



自宅を守って
銃撃受ける

ナス・アブウルアジズ
ナドエリア

WRITE
FOR
RIGHTS
AMNESTY
INTERNATIONAL

WRITE A LETTER
CHANGE A LIFE



ナス・アブドゥルアジーズ ナイジェリア

ナス・アブドゥルアジーズさんはサッカーや自転車に乗ることが大好きな、ごく普通のナイジェリアの若者である。しかしナスさんの状況は普通と異なる。現在彼は住宅の権利のために闘っているのである。

ナスさんが23歳で人生を楽しむべき時に、ナイジェリアの大都市ラゴスのオツウド・バメ・コミュニティは、銃を抱え、ブルドーザーに乗った男たちの警告のない襲撃を受けた。州の命令で動くこれらの男たちは、100年の歴史があるコミュニティの住宅を襲い、家屋を押し潰し、火を放ち、家族を銃撃し、生計手段を破壊した。

2017年最後の追い出し日の前夜、ナスさんは連中の1人に腕を撃たれた。翌日、ラゴス州部隊がコミュニティに押し寄せ、銃撃や催涙ガス攻撃を行った。パニックになった住民は逃げまどい、一部は近くの沼に飛び込んだ。9人が殺害され15人が行方不明となった。

*Nigerian Slum/Informal Settlement Federation
<https://nigerianfederation.wordpress.com/inicio/>

最終的に3万人が家を失い、カヌーや橋の下で暮らしたり、友人や親戚宅に身を寄せたりした。ナスさんも自宅を失ったが希望は捨てていない。ナスさんはナイジェリア・スラム/非公式・セトルメント連盟*に参加した。これは住宅の権利を守るために活動する彼のような人びとの大きな運動である。

ナイジェリア当局にナスさんの住宅の権利を守るよう要請してください。



©Justice & Empowerment

ナイジェリア当局に手紙を書いてください

ナスさんのコミュニティの強制退去を捜査し、住民が再定住し十分な補償を受けられることを保証するように要請してください。

H.E. Babajide Olusola Sanwo-Olu,
 Governor of Lagos State.
 Governor's Office, Ikeja
 Lagos State
 Nigeria

Air Mail

Dear Sir,

Nasu Abdulaziz was 23 when men with guns and in bulldozers descended without warning on his community of Otodo Gbame, Lagos. Government must investigate this act of violence which resulted in the loss of numerous homes in the century-old community. Nine people are believed to have been killed, another 15 are still missing and 30,000 people have been left homeless.

Ensure a full investigation into the forced eviction of Nasu's community, and make sure that everyone is resettled and given full compensation.

Yours Sincerely,

Email: info@lagosstate.gov.ng
 Twitter: @followlag

ナスさんに 応援していることを伝えてください

コミュニティの住宅の権利のための闘いが続けられるように励ましのメッセージを送ってください。(このコミュニティは異なる宗教の人がいるので、宗教的でないものを)

Amnesty International Nigeria
 34, Colorado Street,
 Off Alvan Ikoku Way,
 Maitama, Abuja, FCT
 Nigeria

Air Mail

Housing is a human right.
 I support #JusticeforOtodoGbame